

経営比較分析表（令和6年度決算）

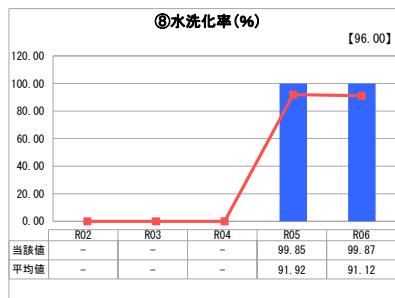
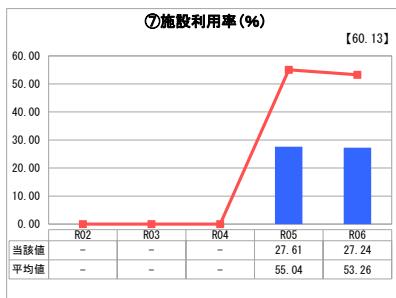
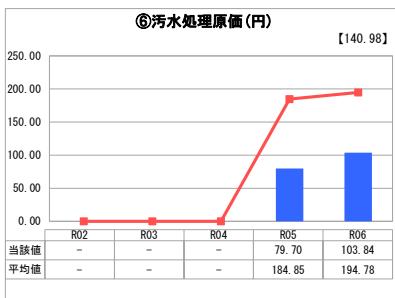
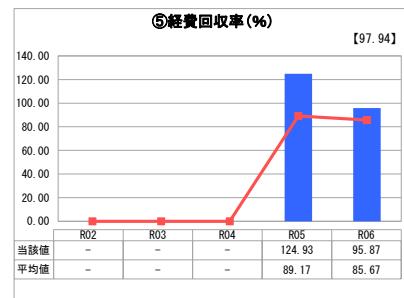
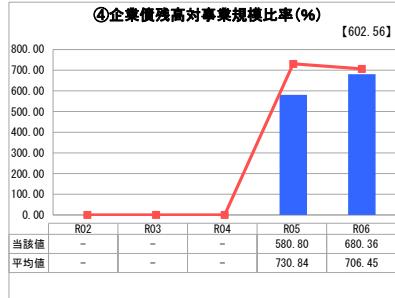
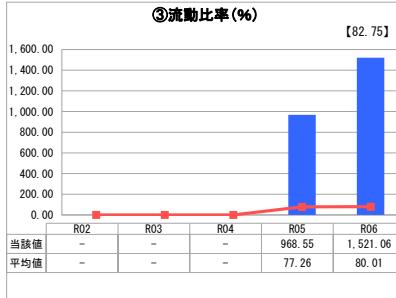
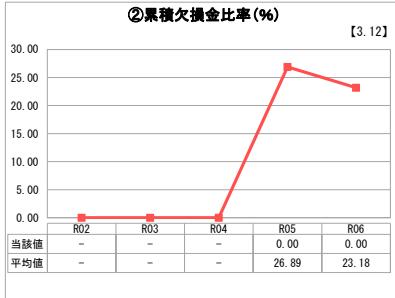
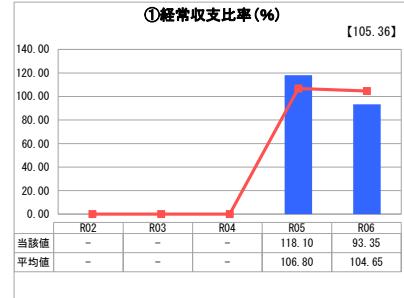
群馬県 草津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	60.71	75.55	138.53	1,870

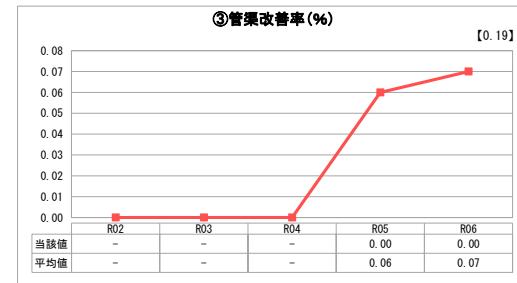
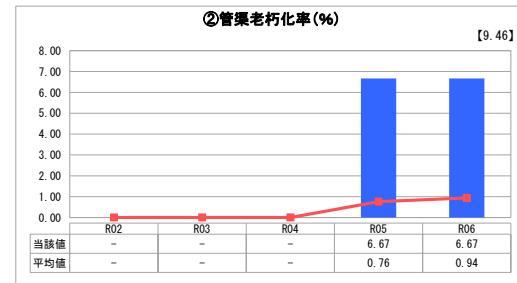
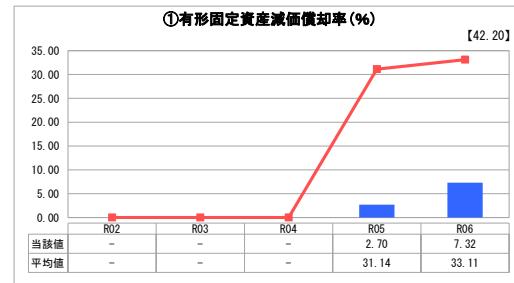
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,055	49.75	121.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,567	2.44	1,871.72

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該団体）
- 類似団体平均値（平均値）
【】令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



* 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①「経常収支比率」
下水処理場再構築事業の供用開始による減価償却費の増加により赤字となった。使用料収入の確保、経費削減等経営改善を図る。
- ②「累積欠損金比率」
令和6年度において欠損金はなかった。
- ③「流動比率」
高い値であるが、下水処理場再構築事業に伴う企業債の償還金が増大していくため、今後低くなることが予想される。
- ④「企業債残高対事業規模比率」
下水処理場再構築事業に伴う起債により昨年度より增加了。
- ⑤「経費回収率」
汚水処理費の増加により数値が下回った。使用料収入の確保、経費削減に努めたい。
- ⑥「汚水処理原価」
平均値より低い値が昨年度より高くなっている。修繕費や委託料の増加、再構築事業に伴う資本費の増加等により、今後も汚水処理原価の増加が予想される。
- ⑦「施設利用率」
建設当時の過大な仕様により、類似団体と比べると低い値である。
- ⑧「水洗化率」
近年はほぼ同率で推移しているため、今後は個別に接続要請等が必要となる。

2. 老朽化の状況について

- ①「有形固定資産減価償却費」
下水処理場再構築事業の供用開始により增加了。
- ②「管渠老朽化率」
法定耐用年数を超えた管渠延長があり、平均値より高い値となっている。管路清掃に伴い点検を行っているが、財源確保や人員不足の課題もあり管渠の更新をできていない。
- ③「管渠改善率」
今年度予定していた更生工事が出来ず、0%となってしまった。今後も計画的に改善するよう努める。

全体総括

老朽化に伴う修繕費や委託料等維持管理費の増加、下水処理場再構築事業に係る資本費の増加により経営が厳しくなってきている。更なる経費削減に努めると共に、財源確保のため料金改定の検討が必要である。

経営状況や財産の把握により、適正な維持管理、経営の効率化・健全化に努めた。